



いずみん

## 中体連大会の代替試合！ バドミントン部3年生の最後の試合でした



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中体連大会は全国、九州、県の総合大会の中止が決まり、八代でも中体連としての大会は中止になりました。3年生にとって中学校の部活動の集大成となる大会がなくなってしまいました。各競技の協会や部の担当の先生たちの尽力で、代替試合が計画されました。

中体連大会中止の決定後も練習をこつこつと続けた3年生。8月8日(土)の大会当日は、保護者の観戦ができずに残念でしたが、感染症対策を幾重にも施した東陽スポーツセンターで、参加した3年生4人がダブルスやシングルの試合に臨み、随所に好プレーを見せてくれました。



部活動は一区切りでも、まだまだ続く中学生活。今後も学校のリーダーとしての活躍を期待しています。

## 2学期が始まりました！ 全員出席のうれしい初日でした

わずか12日の短い夏休みでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響であまり外出ができず、熱中症にも気をつけなければならぬ夏の休まらない夏休みでした。しかし、8月20日(木)には、2学期の初日にスクールバスを降りた児童たち(特に大道便)の元気なあいさつを聞き、体調不良者もなく小中学校62人全員が登校できて、「当たり前」がこんなにもうれしいことなのだ実感しました。

始業式は、感染リスクを考慮して、今回も校内放送による式にしました。9人の児童生徒の発表の後、私から次のような話をしました。

(前略) 私からは皆さんに3つのお願いをします。1学期の最初に皆さんにお願いしたことを、まず振り返ります。

1つ目は、あいさつと返事に力を込めることでした。あいさつと返事に力を込めるのは、大事な場面で力を出せる人になるためです。力のみなざるあいさつや返事には、自分を高めるパワーがあるのだから、しないのは人生の大損です。2学期こそは心と力を込めたあいさつと返事で、自分を磨いてください。

2つ目は、友達や家族、地域の人の良さを見つけて、感謝することでした。皆さんは6月には友達に、7月には家族に、感謝の言葉を書きました。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という句がありますが、人は成長して、心が大きくなるほど、感謝の心も大きくなると言います。「ありがとう」が言える、感謝の心を持てる、大きな心を育ててください。

ところで、2学期は、実りの季節です。運動会や文化祭など、楽しい行事も計画されています。

行事を通して生きる力をつけ、授業を通して学力と人間力をつけ、毎日の生活を通して人生の経験値を高める。成長まただ中の皆さんには、毎日が宝物のような日です。その積み重ねを通して、昨日より何かできるようになった自分を、また、体も心も頭も充実した自分を、自分の力で創り上げるぞ、という強さを持ってほしいと思います。

以上、2学期の、私から皆さんへのお願いは全部で3つです。

1つ目は、あいさつと返事に力を込めること。

2つ目は、友達や家族、地域の方の良さを見つけて、感謝すること。

そして新しい3つ目は、自分は成長するぞ、という強い意志を持つこと。

泉小中学校の全員で、実りの2学期を創っていきましょう。

感染症や熱中症に十分気をつけて、泉小中学校にいる児童生徒先生全員が、ステップアップする2学期にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。